

## 2022年3月期第2四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

**Q1: 米州における2Qの売上が好調だった主な要因は何か？**

米国のCバンドサービスに向けた需要が顕在化してきています。具体的には端末開発需

**A1: 要とキャリアの受入試験需要が増えてきたことにより、米州の売上が回復してきました。**

**Q2: 2Qにおける半導体不足の影響はどうだったのか？**

半導体不足の影響としては、部品不足による売上の期ずれと、5Gスマホ製造市場における計測器の発注見送りが発生し、合計15億円程度の売上の減少が生じました。

**Q3: 通信計測事業の2Qの受注・売上について、どのように評価しているのか？**

顧客のカテゴリーやプロダクトミックスに変化はあるのか？

半導体不足の影響による15億円の売上減を除けば、計画通りでした。

**A3: 5Gビジネスの顧客ミックスについては、チップセットベンダー、端末ベンダー、オペレータの売上比率は3:5:2で大きな変化はありません。プロダクトミックスについても変化はありませんでした。**

**Q4: 2030年に向けた通信計測市場トレンドをどのように考えているのか？**

5G計測市場が2023年-2024年のピークに向けて成長するという想定は変えていませ

**A4: んが、5G利活用分野でのビジネスチャンスの拡大、および6Gを先取りするリリース18以降の開発需要が、2024年以降の計測需要の底上げに寄与すると考えています。**

**Q5: 中計のESG目標にもあるサプライチェーン・デューデリジェンスの進捗状況は？**

中計期間の3年間（FY2021-FY2023）で10社に対しデューデリジェンスを行う計画に対して、今年度5社を往査する予定です。